

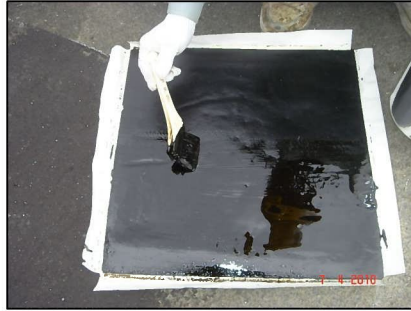
スパークマットの施工要領

●施工順序(写真のとおり)

★製品の取り扱い者様へこの要領書をお渡し下さい！



剥がして



塗って



貼るだけ

まず、マットを剥がして下さい。専用の接着材をマットの裏面(黒い面)全面にはけで塗布した後に補修箇所(補修面)に貼り付けて下さい。なじみがよくなるようにゴム性のハンマーで全体を軽めに叩いて完了です。車道上で時間のない場合、足で全体重にて踏みつけて即開放可能です。通常は自社の工事車両のタイヤにて数回前後に転圧するのが望ましいです。

通行車両のタイヤの転圧効果により圧着するので、安心して交通開放して下さい。歩道部の場合、ゴムハンマーで強めに叩いて完了です。プレートコンパクターでの転圧はおすすめしません。

【外気温が15℃未満での施工について】

・貼付け端部はガスバーナーを使用し、軽く炙り舗装用コテまたは左官コテにて叩いてゼロ摺り付けして下さい。その際のマットの温度は230℃以下となるよう温度管理をお願いします。炙りすぎると舗装材が劣化し燃えてしまいます。マット同士のジョイント部も上記のように、バーナーで炙り舗装コテで叩いてジョイントをなくす(左官ゴテも可能)事が望ましい。(平坦性、密着性UPのため)

接着材の硬化時間は路面温度によりますが、夏場は12時間、冬場は24時間です。

●施工面積に応じて、下記の材料を注文して下さい。

スパークマット(1箱 50cm×50cm 4枚入り 1㎡ 厚さ:0.5cm)

スパークマット専用接着剤(1缶 2.5ℓ入り 5㎡分)

(ナイロンの手袋・刷毛 も付いております)

☆オプション

スパークマット(50cm×100cm×0.5cm)

ヒモアス(クラック充填材:0.5×0.5×50cm)

白線用スパークマット(W=15cm用,W=30cm用)

スパークマットの使用上の留意点

- 施工箇所のチリやホコリをできるだけ、取り除いてからマットをご使用下さい。また、やむをえず、清掃できない場合は、接着剤を多めに塗ってください。
- 接着剤の塗布量の目安(マット1枚当り) 通常:90cc から 110cc、 清掃できない場合:110cc~130cc
- 施工箇所に雨水等がある場合は事前にバーナ等で乾かすようお願い致します。やむをえず、100%水を取り除けない場合は【外気温が 15℃未満での施工について】を参照して下さい。
- クラックが広くて深い場合やポットホール等の穴凹や陥没箇所には、事前に補修箇所を固めの常温合材または加熱合材で充てんし、転圧した後御使用願います。事前処理なしで貼り付けますと、既存の下地がそのまま表れます。
- 上記の場合、マットの裏面の接着面と既存 As の貼付け面の幅をなるべくもたせて下さい。(20cm 程度)
- タイヤの「据え切り」が発生する箇所の使用にはお勧め致しません。
- 交通量が多い交差点部での使用はお勧めできません。
- フォークリフトが走行する場所での使用は下地処理を入念に行い、接着材を十分に塗布する事とマットの端部はバーナ等で炙りコテにてゼロに摺り付けする事をお願い致します。
- 夏季に御使用する場合、接着面(黒い面)を直射日光に当てないようにして下さい。軟化しすぎて、引っ張ると断裂する可能性があります。
- 接着剤には火気を近づけないで下さい。(火気厳禁です。)夏場は車内で保管しないよう、御留意下さい。
- 接着剤の缶は使用后、確実に閉めて下さい。(密閉する)
- 冬季に0℃以下の場所で保存した場合、できるだけ衝撃を与えないようにして下さい。衝撃により、マットにひび割れが発生する恐れがあります。



株式会社スパーク

石川県河北郡内灘町ハマナス 1-37

(076)286-6229 FAX(076)255-6529

担当:塚本 輝樹(携帯番号 090-2035-6492)